

MS-Gate 取付マニュアル



MS2022

本書は必要な時にいつでもご覧になれるよう、お手元で大切に保管してください。

作業上の注意

- 作業前に必ず取付マニュアルと取扱説明書をよく読み、理解してから作業してください。
- 必ず設置する機器(集合玄関機等)の取扱説明書をよく読み、理解してから作業してください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎやネジ山をつぶす原因になります。
- ネジや小さな部品を紛失しないよう、整理整頓された状態で作業をしてください。
- 取り外した部品は大切に保管してください。原状復帰や緊急対応時に必要です。

MOTHER SECURITY PRODUCTS Security products that controls time
MOTHER SECURITY CO.,LTD.

<第2版>

注意

<p>安全に関する表示</p> <p>表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、右記の表示で区分し、説明しています。</p>	<p>注意</p> <p>取扱いを誤った場合、傷害を負う等危険な状態が生じることが想定される場合</p>
<p>図記号の説明</p> <p>お守りいただく内容を右記の表示で区分し、説明しています。</p>	<p>! 製品の取り扱いにおいて、必ず行う内容</p> <p>⊘ 製品の取り扱いにおいて、禁止する内容</p>

注意・警告

- 本製品へ故意に水をかけたりしないでください。防水規格 IPX5 を取得しておりますが、水が浸入すると感電や火災、故障の原因となります。
- 清掃の際、水を直接かけたり、ベンジン、シンナー、アルコールを使用しないでください。
- 高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 結露が激しい場所ではご使用しないでください。
- 保管、設置環境によっては劣化が早い可能性があります。
- 湿気やほこり、油煙が多い場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 落としたり、傷つけたりしないでください。故障の原因となります。
- 操作ボタンや、センサー部分を乱暴に操作しないでください。
- 電源のトラブルを避けるため、年に1回程度の AC アダプターの交換をしてください。故障や破損の原因となります。
- 取付等の作業を行う場合は、設置機器の電源を切ってから行ってください。感電や故障の原因となります。
- 本製品の取付けは、電気工事の資格がある方が行ってください。知識がない方の工事は感電の原因となります。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。
- 指定の電源電圧以外の電圧では使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- 登録した IC カードを紛失しないでください。万一紛失した場合は、登録を抹消し、新しい IC を登録してください。IC カードの紛失による損害は当社では責任を負いません。
- 海外でご使用になる場合は、メーカー保証対象外となります。

1 集合玄関機の取り外し

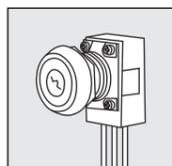
取付作業における注意

- キースイッチを併用する場合は集合玄関機に穴あけ加工が必要です。必ず、所有者やマンション管理組合や管理会社の許可をとってから行ってください。
- 取付作業を行う際は、集合玄関機等の接続機器の電源を切ってから行ってください。感電や故障の原因となります。
- 電源ケーブルをはじめ、各コネクタケーブルとの結線作業が必要です。断線やショートが無いよう適切な処置を行ってください。
- ケーブルを抜く必要が生じた際は、必ずケーブル中間部にあるコネクタを外すようにしてください。
- 集合玄関機のパネルを外す際に接続されたケーブルが引っ張られる場合があります。ケーブルを引っ張らないように注意して外してください。
- 無電圧 a 接点出力を、キースイッチの出力端子に結線する場合や電源を集合玄関機の電源から取る場合は、集合玄関機メーカーに相談の上、所有者や管理会社の許可を取ってから行ってください。
- 設置後は動作確認を行い、動作に問題が無いことを確認してください。

集合玄関機のパネル及びキースイッチを外します。

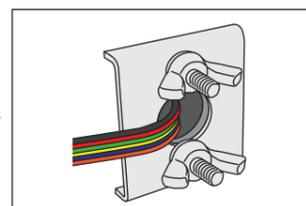
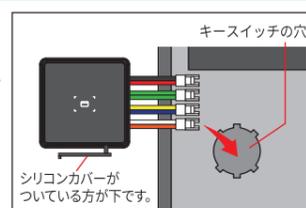
- ① 集合玄関機メーカーの取扱説明書に従い、集合玄関機のパネルを取り外します。

- ② キースイッチを併用しない場合はキースイッチメーカーの取扱説明書に従い、キースイッチを取り外します。
※取り外した部品を無くさないように注意してください。



2 機器の取付け

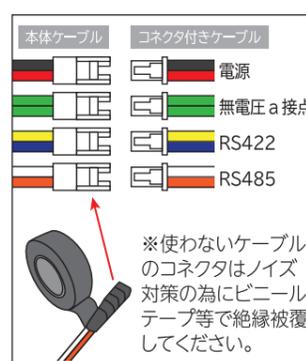
- ① IC マルチリーダーのケーブルを集合玄関機パネルのキースイッチを取り外した穴又は、穴あけ加工した穴から通します。
※穴のふちでケーブルを傷つけないように注意してください。
※穴の形状によっては裏のプレートを90度回すか、穴を拡張してください。
- ② 集合玄関機パネルの裏側から固定金具、ワッシャー、スプリングワッシャー、蝶ナットを使用し、シリコンカバーが下になる向きで MS-Gate を固定します。
※機器が動かないようにしっかり締めて固定してください。
※ケーブルを挟まないように注意してください。
※蝶ナットが使えない場合は六角ナットをご使用ください。



- ③ 使用する電源コネクタ、無電圧 a 接点出力用コネクタ、通信用コネクタを接続します。
RS422、RS485 の接続、設定については裏面をご覧ください。
※ケーブルは必要に応じて延長してください。
※ケーブルは付属の DC ジャック付きケーブルと結線し、AC アダプターとつなぎコンセントに接続してください。
※電源ケーブルにフェライトコアを取付けてください。

フェライトコアの取付

コネクタ付きケーブル(黒/赤)を一周巻きつけて取付けてください。

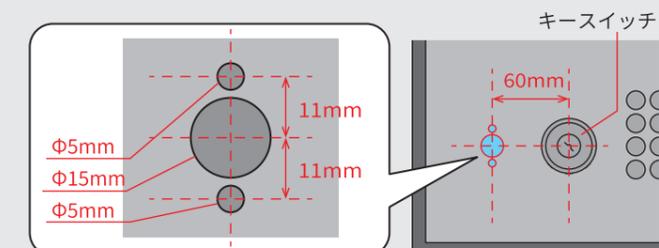


※使わないケーブルのコネクタはノイズ対策の為にビニールテープ等で絶縁被覆してください。

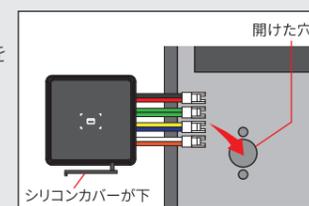
キースイッチを併用する場合の加工

- ケガや器物破損をしないように注意して作業を行ってください。
- 設置する集合玄関機により穴開けの位置が変わります。内部の機器や外側のスイッチ等に干渉しない位置を確認のうえ穴あけ作業を行ってください。
- ケーブルを傷つけるので、開けた穴は必ずバリ取りをしてください。

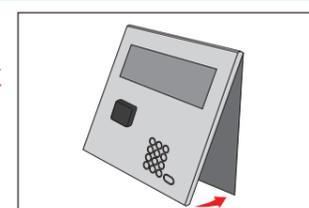
- ① キースイッチ下穴の中心から60mm以上離れた位置にΦ15mmの穴を開け、開けた穴を基準に上下にΦ5mmの穴を開けます。
※穴あけ位置の図は目安です。必ず、設置して問題ない位置か、配線に問題が無い位置か確認してから穴開けを行ってください。



- ② IC マルチリーダー本体のケーブルを開けたΦ15mmの穴から通し、固定ネジをΦ5mmの穴から通します。
※穴のふちでケーブルを傷つけないように注意してください。



- ④ 集合玄関機パネルをメーカーの取扱説明書に従い取付けて完了です。
※ケーブルを挟まないように注意してください。

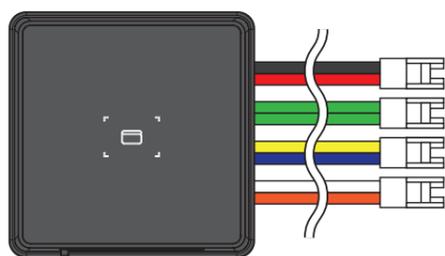


必ず設置後に動作確認を行い、問題が無いことを確認してからご利用ください。

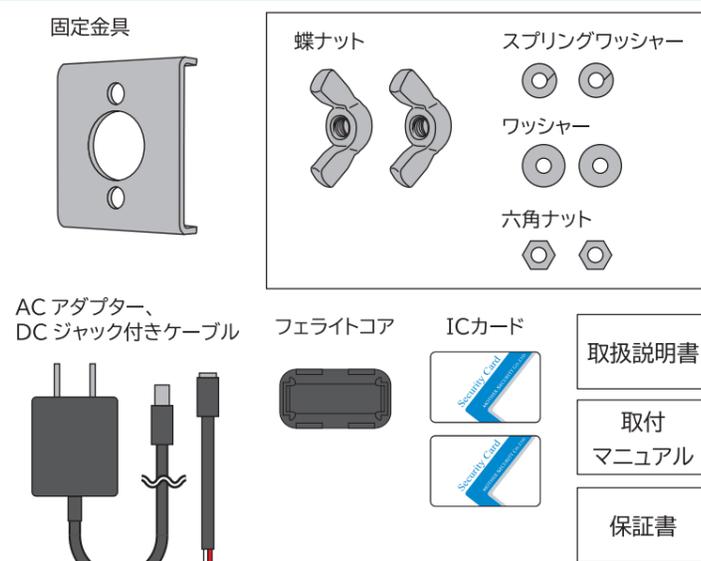
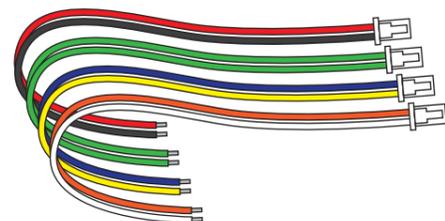
基本セット内容

梱包内容に不足はないか、確認してください。

ICマルチリーダー



コネクタ付ケーブル



	項目	数量	備考
構成部品	ICマルチリーダー	1	ゴムパッキン付き
	固定金具	1	
	蝶ナット、六角ナット、ワッシャー、スプリングワッシャー	各2	
	コネクタ付きケーブル(黒/赤)	1	電源用(200mm)
	コネクタ付きケーブル(緑/緑)	1	無電圧 a 接点用(200mm)
	コネクタ付きケーブル(黄/青)	1	RS422 用(200mm)
	コネクタ付きケーブル(白/橙)	1	RS485 用(200mm)
	ACアダプター、DCジャック付きケーブル	各1	DC12V
	フェライトコア	1	
	付属品	ICカード	2
取扱説明書		1	
取付マニュアル		1	本書
保証書		1	

RS422 通信をする場合

MS-Gate を対応する機器と RS422 ケーブルで接続・設定することで IC 認証、パスワード認証で RS422 信号を送ることができます。
RS422 通信接続・設定については裏面をご覧ください。
※設置可否は接続する機器のメーカーにご確認ください。

RS485 通信(入退室を一括管理)をする場合

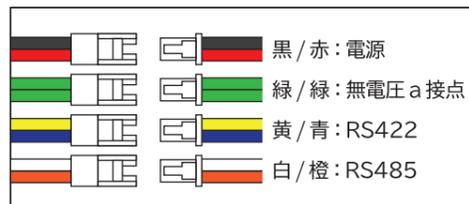
MS-Gate 同士を RS485 ケーブルで接続し、エントリーを入室・退室で設定することで、接続した 2 台の認証履歴を一覧で閲覧することが出来ます。
RS485 通信接続・設定については裏面をご覧ください。

MS-Gate を RS422 通信対応機器と接続する場合の接続・設定

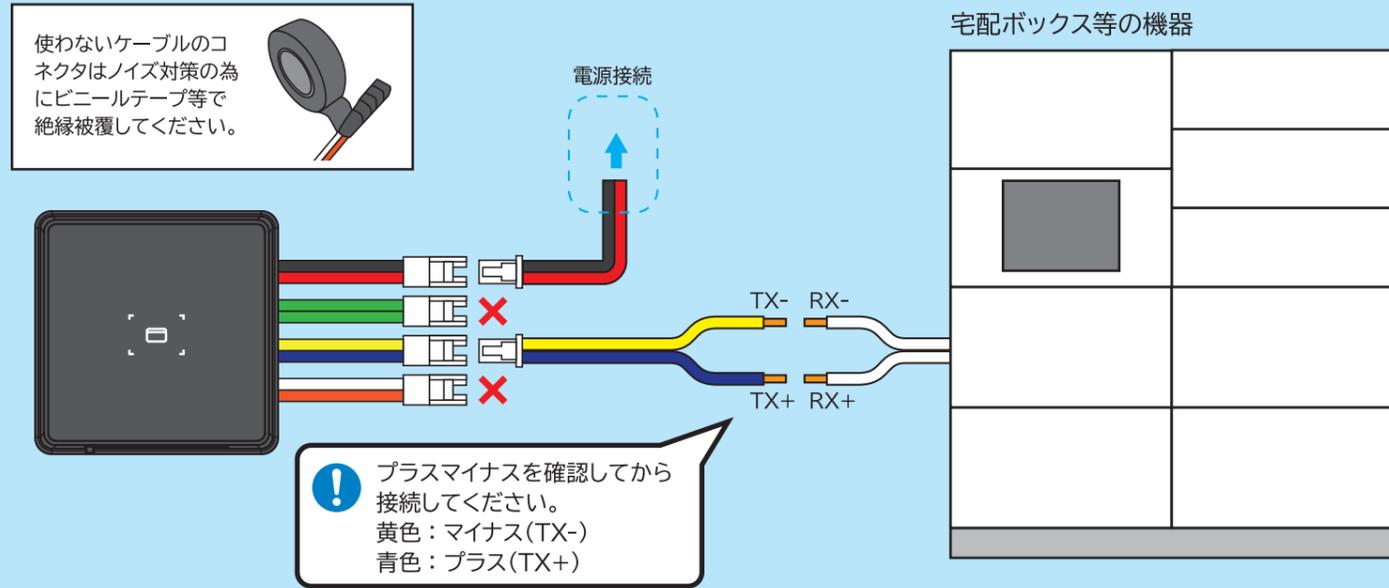
MS-Gate を対応する機器に RS422 ケーブルで接続・設定することでIC認証、パスワード認証で RS422 信号を送り解錠等の動作をさせることができます。設定にはマスター登録した IC カードが必要です。

1. 機器の接続

注意 必ず接続可能な機器であることを確認してから設置・接続してください。設置機器の取扱説明書に従い、電源を切ってから作業を始めてください。



接続図



2. ゲート番号変更

・RS422で接続する機器に合わせてゲート番号を 01 ~ 09 で設定してください。初期状態は 01 です。
 ・ゲート番号の変更にはマスター登録した IC カードが必要です。

① キーパッドエリアをタッチします。



② 5秒以内にキーパッドでゲート変更コマンドを入力します。
 コマンド：* → 85 → #



③ 5秒以内に IC マルチリーダーのマスターカードをかざすに、G マスターまたは A マスターカードをかざします。



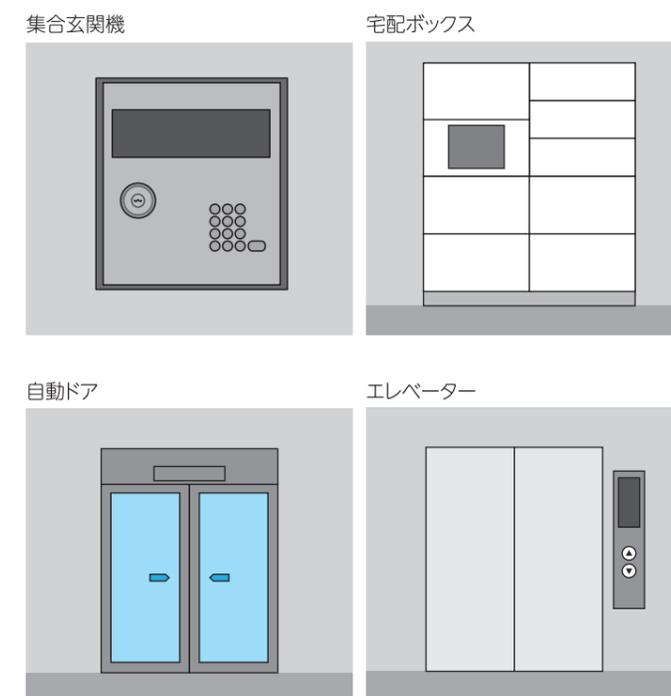
④ 5秒以内に設置機器に対応したゲート番号 01 ~ 09 と # を入力して設定完了です。
 [01 ~ 09] → #



注意 必ず設置後に動作確認を行い、問題が無いことを確認してからご利用ください。

対応機器の例

注意 必ず設置・設定可能な機器であることを事前にご確認ください。

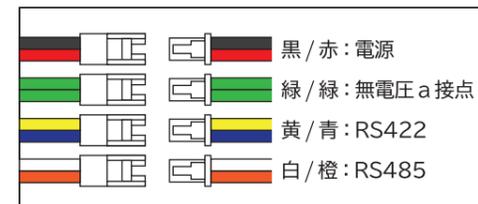


MS-Gate を RS485 通信で 2 台接続し入退管理する場合の接続・設定

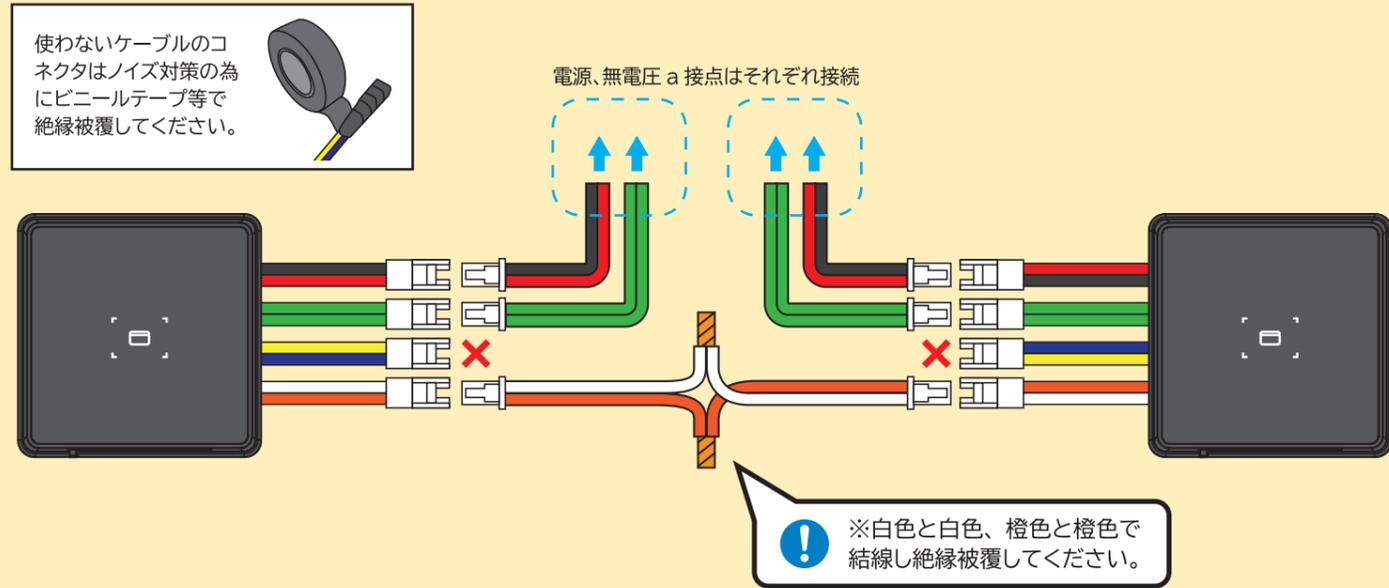
MS-Gate 同士を RS485 ケーブルで接続し、エントリーを入室・退室で設定することで、接続した 2 台の認証履歴を一覧で見ることが出来ます。設定にはマスター登録した IC カードが必要です。

1. 機器の接続

注意 必ず配線の位置を確認してから設置・接続してください。設置機器の取扱説明書に従い、電源を切ってから作業を始めてください。



接続図



2. エントリー設定の変更(入退変更)

・室内側に設置する機器を退室設定(22)に変更してください。初期状態は入室設定(11)です。
 ・エントリー番号の変更にはマスター登録した IC カードが必要です。

① キーパッドエリアをタッチします。



② 5秒以内にキーパッドでエントリー変更コマンドを入力します。
 コマンド：* → 84 → #



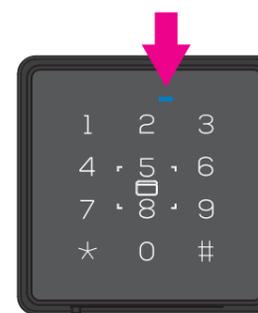
③ 5秒以内に IC マルチリーダーのマスターカードをかざすに、G マスターまたは A マスターカードをかざします。



④ 5秒以内にコマンドを入力して設定完了です。
 室外側(入室)：11 → #
 室内側(退室)：22 → #



⑤ エントリー設定を行い入室・退室で接続されると青色ランプが点灯します。



エントリー変更を行い RS485 通信線で入室・退室に設定した 2 台を接続しておく、認証履歴が退室(22)に設定した機器にまとめて保存されます。microSDHC カードに履歴をダウンロードする操作は退室に設定した機器で行ってください。

2 台を RS485 で接続している場合でも、ユーザー登録や PC で作ったデータのアップロードはそれぞれの機器で行う必要があります。